

新たな上下水道の姿へ '24産業界展望

社会ニーズの変革に応じた協会活動

管路診断コンサルタント協会事務局長 長島 隆幸



新年を迎え、コンサルタント業界唯一の管路改築・修繕コンサルティングに係る専門技術者集団である当協会の一員として今後の管路マネジメントの方向性について想像しますと、安全・安心が担保された社会生活の確保を前提に、事業の持続・成長、次世代に向けた技術革新・推進に加えて、官民連携での事業運営が思い浮かびます。

さて、令和6年度の本協会の活動ではこれまで同様、年2回の技術講習会（ショーケース）の開催など、会員の皆様のスキル向上ならびに社会貢献していくための情報発信を継続してまいります。その他、事業体を含めた様々な団体の方々に活用いただいております管診鏡（地上から下水道施設内の点検調査）の販売、管路耐震化実施設計における発注業務の積算基準を補完した（新）下水道管路施設改築・修繕に関する設計委託業務標準歩掛案の刊行、ウォーターPPPに備えた下水道経営、管路施設の老朽化対策と将来の更新、施工管理等のCMに対応する技術資料の作成といった多岐にわたります。また、今般には水道委員会を発足し、水道管路技術の収集や点検調査に関する歩掛作成に向けた準備など、会員の皆様他へ情報提供を行ってまいります。今後は本協会の活動にご注目頂き、84社の協会員をご指名頂きますようお願い申し上げます。